

クラウドファンディングにご協力ください!

# 消えゆく記憶を大判パネルでつなぐ

## 山口県の空襲を伝えるプロジェクト

# 戦後 80年

募集期間 2025年6月23日～8月20日

■支援サイト  
**目標金額 120万円** READYFOR

<https://readyfor.jp/projects/Yamaguchi-Kushuten>



**プロジェクト説明会 7月2日 20:00-21:30**

### プロジェクトを立ち上げたきっかけ

1945年(昭和20年)、山口県下の都市や工場は米軍による集中的な空襲を受けました。

私たちは、山口県内で空襲の記録に取り組む有志の集まりです。県内の空襲に関する情報を共有していく目的で、オンライン上で会員が繋がる緩やかな組織です。今年には戦後80年になります。空襲の体験者が減少していく中、消えゆく戦争の記憶を次世代につなぐため、新しい継承方法を模索する必要があると考えました。



焼け野原になった徳山市街地



空襲の余塵くすぶる下関市街地(7月2日)

### なぜ大判パネルなのか

アメリカの国立公文書館には、戦争中に米軍の写真偵察機が撮影した航空写真の大判ネガフィルムが保管されています。空襲のために撮影されたものですが、今では見ることでできない山口県内各都市の様子がわかる貴重なフィルムです。

このネガフィルムをスキャナーで読み取ると1～2億画素の高解像度の画像を得ることができます。これを使って、大判パネル(1600mm×1200mm)を製作すれば、建物一戸一戸の形を見ながら地域全体を見渡すことができます。

#### 支援金額とリターン

- 3,000円 お礼メール
- 5,000円 オンライン報告会へのご招待
- 10,000円 オンライン報告会へのご招待に加え、
- 30,000円 プロジェクトの成果報告書をPDF
- 50,000円 ファイルでお届けします。

### 今後の活動

プロジェクトの予算内で大判パネルを製作し、順次内容を充実させ、次のパネル製作につなげます。

製作したパネルは、適切な場所に保管し、希望者には審査の上、貸し出します。大判パネルを製作するだけでなく、高解像度の画像から得られる情報を、オンライン会議で検討し、得られた成果を会員間で共有して展示に生かします。具体的には、航空写真の画像を地図ソフトを使用し、地図上に展開して建物名などを特定します。こうして得られる情報とパネル展示で来場者から寄せられた情報を蓄積することによって、地域の歴史に関する理解を深めることができると考えています。

## 山口県空襲展実行委員会

- お問い合わせ e-mail / [yamaguchi.kushuten@gmail.com](mailto:yamaguchi.kushuten@gmail.com) 共同代表 / 工藤洋三・瀬谷由美子
- ご支援いただける皆様へ 銀行振込をご希望の場合：山口銀行 本店営業部(普通) 5306418 山口県空襲展実行委員会  
ゆうちょ銀行での振込をご希望の場合：口座番号 01510-1-7343 工藤洋三



入会申込登録フォーム



# 画像を拡大して情報を共有すれば いろいろなものが見えてくる！



空襲を受けて朝を迎えた下関市街地 1945年（昭和20年）7月2日



空襲を受ける前の宇部市街地 1945年（昭和20年）6月21日